

事業者支援に注力！

北陸3県信用保証協会の取組み

課題を掘り下げ専門家とともに改善

ノウハウを点から面へと展開する

信用保証協会の役割といえば、金融機関から申し込まれしかし近年は、信用保証協会が出向いて事業者の経営改善数ある信用保証協会の中でも積極的だといわれるのが、

た融資を審査し、保証することというイメージは根強い。に取り組む動きが活発化してきた。北陸地区3県の信用保証協会だ。その取組みを紹介しよう。

信

信用保証協会は2018年の法改正により、中小企業に対する経営支援に取り組むことが業務の一環として定義された。以来、事業者を直接訪ねて経営改善のアドバイスを提供する、専門家を派遣して個別の経営課題に対応するといった動きが全国の信用保証協会に広がっている。

信用保証協会が次々開業している。折しも、コロナ禍が長引いている昨今は、債務を抱えながら本業で苦しんでいる事業者が数多く、期待がかかる動きといえよう。特にいま、事業者支援に積極的だといわれるのが、石川県信用保証協会、富山県信用保証協会、福井県信用保証協会（以下、北陸地区）だ。

課題解決支援を機にスキルアップも図る

まずは、北陸地区で共通する3つの取組みから見ていこう。1つ目は「その道のプロによる課題解決型経営支援」。

信用保証協会が専門家派遣制度を活用する際に多いのは、経営改善計画を策定するために中小企業診断士に依頼するケースだという。これ自体は必要な取組みだが、北陸地区は、より具体的な経営課題にも踏み込む。例えば、支援先が飲食店であれば、フードコンサルとともにターゲットとする客層やメニューを再検討し、店舗経営を立て直す。伝統工芸品の魅力を来店客にもっと知ってもらいたいと考えている企業

2つ目は「女性支援チームによる共感型伴走支援」。女性経営者に寄り添ってサポートするとともに、信用保証協会の女性職員が持ち味を發揮することを旨とする取組みだ。石川県は「エクト」、富山県は「アイラール」、福井県は「つぐみ」と名付けた女性職員チームがそれぞれ活動している。

いずれも女性への「傾聴・共感・安心」をコンセプトとして支援に取り組んでおり、女性の経営者や起業希望者を対象とする創業支援セミナーや交流会などは、年々参加者が増えているという。そして3つ目が、こうして各協会が培ったノウハウを、協会内だけでなく地元金融機関にも共有し、支援活動を点から面へと広げていることだ。

特に、経営改善を必要とする中小・零細事業者との接点が多い信用金庫や信用組合を対象として、経営トップが集まるラウンドテーブルや、次世代エース級職員を集めた意見交換会、若手職員交流会などを継続的に開いている。

トレーニー制や意見交換会を開催

3県の信用保証協会が共通する取組みに加えて、各協会がそれぞれに問題意識を持って行っている取組みも紹介しよう。福井県信用保証協会は、内部の組織固めに力を入れている。22年度は、事業者支援の意識醸成やスキルアップを目的として、全役職員を対象とする研修会を実施した。例えば研修会では、事業者支援の

よる着眼点やアドバイスを身近で見聞きすることで、同行者のスキル向上や事業者との信頼関係構築の機会にもなっているのだ。こうした課題解決型経営支援の取組みは、石川県が19年度から、富山県と福井県が21年度から開始し、従来以上に

経営課題を改善できるため事業者が喜ばれている。満足度調査（ネットプロモータースコア（NPS））における「他の事業者に本制度を紹介したいと思えますか？」といった質問では、「紹介したい」を意味する高得点が多数を占めるという。

3県の信用保証協会が共通する取組みに加えて、各協会がそれぞれに問題意識を持って行っている取組みも紹介しよう。福井県信用保証協会は、内部の組織固めに力を入れている。22年度は、事業者支援の意識醸成やスキルアップを目的として、全役職員を対象とする研修会を実施した。例えば研修会では、事業者支援の